

当者はH O I  
について「V  
現実に重ねて  
（ル）で見られ  
建設業だけ  
学や運送業な  
業から反響を  
現場での墨出し、出 眞生印刷などによるM 題になりそうな箇所を、一れ、あたかもその会議に」を旨指す。

建設新聞  
2018.9.11

置かれた場合で  
置の特定が可  
なり、救助の  
ができる。

イズは幅17  
×奥行850  
幅1000  
重さは約20  
。価格は15  
円（税抜き）。

# 専門学校生で道内初合格

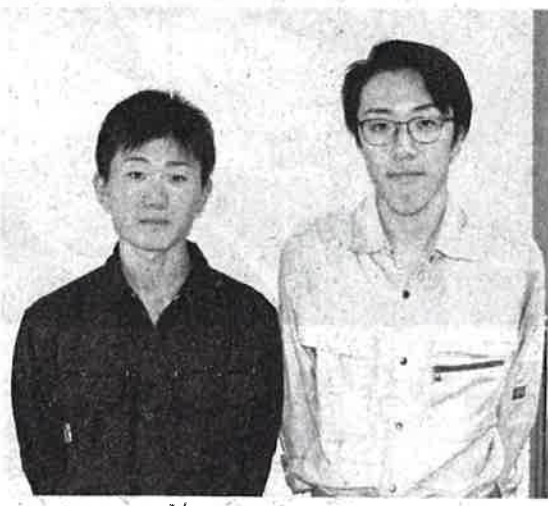
## ブロック建築3級技能検定

### 関口さんと中沢さん

2018年度前期のブロック建築3級技能検定で、札幌工科専門学校造園緑地科2年の関口翔太さん（19歳）と中沢隼也さん（同）が専門学校生として道内で初めて合格した。専門分野ではない職種だが、ひたむきな努力が実った。

造園の道に進むことを決めている2人。庭造りでもコンクリートブロックの構造物を使用する場面があり、社会に出て仕事をすることで糧になると考え、受検を決めた。

ものづくりマイスターの派遣制度合格を果たした関口さん（左）と中沢さん



を活用し、道立高等技術専門学院でブロック建築の指導員などを務めた、北海道メーソソリー工業業協会の秋田谷三雄専務理事に指導を依頼。6、7月の土日を使い、基礎から集中的に学んだ。「食事中もブロックにモルタルを載せるときの、こ

での使い方を考えていた」という。2人を見守った造園緑地科の岩瀬聡科長は「あらゆる業界で分業化が進む中、いろいろな技能を持つことで職域が広がる。庭を造るとき想像力も豊かになるだろう」と期待する。実家が帯広で造園会社を営み、その4代目と期待される関口さん。「祖父や父という目標を越えたい。そのためにも、持っている造園技能士3級のさらに上を目指す」と引き締まった表情で。

ガーデニングを楽しむ両親の姿が同校への進学を後押ししたという中沢さんは「公園の設計が最終目標。いろいろな技術を身に付け、多くの人が楽しめる公園を造りたい」と見据える。

技能者の高齢化や入職者の減少に迫られている建設業で、夢を持って着実に歩む若者がいる。

アイコム  
**GPSレシーバー実装**  
多機能デジタル簡易無線機発売  
アイコム(本社・大阪)は、GPSレシーバーを  
実装した多機能デジタル

でも気にせず使うことができる。  
切り替え操作することなく、最大3チャンネル間で送受信できるサブチャンネルPIT機能を全

の指示・連絡システムをカバーし、複数台の無線機を持つ必要がないため、装備品の軽量化につながる。

GPSレシーバーも実装。通信相手の位置情報を受信しながら、居場所を画面に表示する。  
録音再生機能に加え、着信を振動で伝えるバイ

で、全国8  
場で開かれ  
建築が10月  
から札幌市  
施設建設現  
月10日午前  
市内の山岳  
現場でそれ  
いる。  
大学生や  
専生らを対  
見学会。建  
技術の紹介  
トに関わつ  
などを通し  
スケールの  
のづくりの  
できるプロ  
同社ホー  
希望の現場  
を入力して  
内の定員は  
も15人。  
ブルレスを  
が求められ  
円滑な運用  
免許局対  
のIC-D  
帯のIC-